



9月に行われた理学療法学科の学生と全国パーキンソン病友の会北海道支部との交流イベントの様子

福祉マネジメント学科の現在とこれから



福祉マネジメント 学科長 志水 幸

看護福祉学部福祉マネジメント学科は、令和4年度より臨床福祉学科から名称変更いたしました。福祉マネジメント学科は、平成5年度の看護福祉学部設置時に、医療福祉学科（医療福祉専攻/臨床心理専攻）として設置されました。平成14年度の心理科学部独立・設置に伴い、医療福祉専攻は、高度専門職を明示すべく臨床福祉学科へと名称を変更いたしました。また、平成20年度よりヒューマンケアを担う人材養成の教育理念のもと、福祉専門職養成（社会福祉士、精神保健福祉士及び介護福祉士）に加え、新たな教職課程（高等学校福祉、公民、特別支援学校）を開設いたしました。その後、平成26年度にはスクールソーシャルワーカー養成課程を開設し、令和2年度には初級障害者スポーツ指導員の養成を開始いたしました。

学科名称の変更にあたり、履修モデルとしてのコース制も従来の3コース（保健福祉臨床、精神保健福祉、介護福祉）から4コース（ソーシャル・マネジメント、メンタルヘルス・マネジメント、ケア・マネジメント、スポーツ・マネジメント）へと拡充いたしました。併せて、教育・研究の管理運営体制についても、従来の3講座（社会福祉学、精神保健福祉学、介護福祉学）から、新たに教育福祉学講座を設置し4講座制により各コースの学生支援を行なっております。

さて、社会保障制度政策の観点からみれば、わが国の喫緊の課題の一つは、地域共生社会の実現です。そのためには、

従来の資格教育に特化した専門職養成教育の限界を超えた、いわば専門性や実践フォールドを拡張する教育・研究が求められています。そこで、各コースでは、基礎となる国家資格取得のための教育の上に、様々な教育機会を積み上げることによって当該フィールドにおける多職種連携・地域連携のリーダーとして活躍するためのマネジメント能力を修得いたします。

本学では、学科を含め様々な自治体や社会福祉法人との連携協定を締結してまいりました。その一環として、本学科は地元自治体の介護保険事業計画（高齢者保健福祉計画）、障がい福祉計画（障がい者基本計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画）、地域福祉計画の策定業務を受託してまいりました。学科では、この策定業務を重要な教育機会と位置付け、教員と学生との協働によるヒアリング（地域住民・サービス事業者等を対象）を開催する等、現実の地域を学びの場とした教育を行なっております。また、今年度から、プロジェクト演習・研究の内容を前倒し運用している専門演習では、学生と教員が様々な地域に入り、そこから課題を発見し、解決のための企画を立案し、実施・評価する教育活動が開始されました。

これまでの福祉専門職の枠を越えて新たな地域社会の創出に貢献できる人材養成を行ってまいりますので、今後とも皆様のご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

CONTENTS

福祉マネジメント学科の現在とこれから	1
教員役職者・新任教員・昇任教員等紹介	2
白井一幸氏が客員教授に就任	
2022年度入試結果報告	3
国家試験結果報告	4
就職状況結果報告	5
多職種連携・ 全学連携地域包括ケア実践演習 実施報告	6
イベント開催報告	8
株式会社 北海道医療大学 パートナーズを設立しました。 大学院医療技術科学研究科を開設します。 2023年度から、 「特待奨学生」制度は全学部・学科を 対象に大幅に拡充します。	10
OG訪問[看護学科]	11
TOPICS	12
EDITOR'S NOTE	